

# 注意!

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農薬使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。  
■文中で旧 URL(<http://www.nougyou.kitakami.iwate.jp/agri/>) を記載している場合、新 URL(<http://i-agri.net>) に読み替えてください。

## 平成16年度病害虫発生予察情報 特殊報第2号

平成16年8月31日  
岩手県病害虫防除所

### オオモンシロチョウ (*Pieris brassicae* LINNAEUS) の発生について

#### 1 発生状況

- (1) 平成16年8月に久慈市および野田村で、アブラナ科作物を加害するオオモンシロチョウ (*Pieris brassicae* LINNAEUS) の成虫、卵、幼虫の発生が確認された。
- (2) 寄生を確認した作物はキャベツ、ブロッコリ、ダイコンである。
- (3) 本種はヨーロッパ、北アフリカ、エチオピア、北部インド、南部シベリアからチベット、中国、パキスタン、チリ、ニュージーランド等に分布し、平成8年に北海道と青森県で新規発生が確認されている、侵入害虫である。

#### 2 生態と被害の特徴

- (1) 成虫はモンシロチョウより一回り大きく、体長約20mm、開長約60mm前後。前翅端の黒色斑紋が大きい(写真1)。
- (2) 卵は数十個を卵塊として、主に葉裏に産下する(写真2)。
- (3) 若齢幼虫は群棲し、その後株内で分散する(写真3)。中・老齢幼虫はまばらに毛を有し、体色は青緑色～黄緑色で黒い斑点をもつ(写真4)。蛹はモンシロチョウに似る。
- (4) 成虫は、物陰や囲いのある畑を好み産卵し、幼虫は集団で加害するので発見はたやすいが、老齢幼虫は数日で1個のキャベツを食べつくすといわれている。
- (5) 青森県では、蛹で越冬し、年3回の発生が確認されているが、慣行防除圃場での被害は認められていない。

#### 3 防除対策

オオモンシロチョウに適用がある殺虫剤は無いが、モンシロチョウ、ヨトウガ、コナガに適用のある殺虫剤で同時防除が可能である。



写真1 成虫  
上段 オオモンシロチョウ  
下段 モンシロチョウ  
左側 右側



写真2  
卵塊



写真3  
若齢幼虫



写真4  
老齢幼虫

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】

本所: TEL 0197(68)4427 FAX0197(68)4316 県北駐在: TEL 0195(47)1078 FAX0195(49)3015  
この情報は、いわてアグリベンチャーネット <http://www.nougyou.kitakami.iwate.jp/> でご覧いただけます。

